

南山大学
人間関係研究センター



*CENTER FOR THE STUDY OF HUMAN RELATIONS
NANZAN UNIVERSITY*

2026

CONTENTS

Volume 39, 2026

■公開講座の位置づけ	2
■公開講座カレンダー	3
■公開講座共通案内	4
■公開講座	
1 第13・14回人間関係講座（ベーシック）	5
2 第128回人間関係講座（グループ）	6
3 第129回人間関係講座（コミュニケーション）	7
4 第4回人間関係講座（オンライン）	8
5 Tグループ〔人間関係トレーニング〕	9
6 トレーナー・トレーニング	10
7 体験学習ファシリテーション〈ベーシック〉	11
NEW! 8 自己理解から始めるエンパワーメント：共生社会を目指すアプローチ	12
9 ポジティブ生徒指導入門	13
10 システム論で捉える人間関係	14
11 ゲシュタルト療法ワークショップ〈ベーシック〉	15
NEW! 12 ゲシュタルト療法ワークショップ〈アドバンス〉	16
13 アートベースで自己理解を深める：フォーカシング指向のアプローチ	17
センター活動紹介	18
公開講演会	19
研究の推進	20
センター員の社会貢献	21
センター員紹介	22・23
受講申込手順	24・25
緊急時における講座の取り扱い	26
交通・会場案内	27・28

表紙について

私たちの体験学習

Learning through Experience

本表紙の作品は、2025年度に開催された南山大学人間関係研究センター設立25周年&『人間関係の学び方』出版記念イベントで開催されたワークショップ「体験学習を表現してみませんか」に参加された皆さんと一緒に創作したものです。

「わたしにとっての体験学習とは？」という問いに対して、ことばでなく色や形、線や具体的なものなどのイメージで表現してもらいました。参加者のみなさんは、それぞれ作品紹介後、大きな模造紙上の好きな場所に作品を貼り、自分の作品から5本ほどの線を他の作品につなげていきました。そして、その線の間を模様や色や線などを使ってみんなと一緒に埋めていきました。何が見えてくるか最後までわからない、その場にいる参加者一人一人の動きが拓いた作品になりました。参加くださった皆さん、本当にありがとうございました。



Human Relations

Designed by Hiroshi HAMAMOTO

多様なあり方を尊重する、人間性豊かな社会を創り出すために

南山大学人間関係研究センターは、一人ひとりの存在を大切に、誰もが自分らしく生きられる人間性豊かな社会の実現を目指して、現代社会にとって大きなテーマの一つである「人間関係」に焦点をあてた研究と、その成果を広く社会へ還元するための取り組みを行っています。

センター員がそれぞれのフィールドを通して取り組む研究は、従来型の客観的分析的研究にとどまらず、対人関係・組織・人間性・社会など、幅広い分野における実践的研究の豊富さが特色です。

公開講座では、誰もが人間関係を実践的に学ぶことができる場を提供しています。南山で伝統的に取り組んできた「ラボラトリー方式の体験学習」という学習方法を通して、人間関係への学びを深めていくことのできる講座群を展開するとともに、スタッフの専門性と特色を生かした講座も開催しています。これらの講座には、日本全国から多くの方がご参加くださり、2025年度現在の修了者数は延べ9895名にのぼっています。

この他にも、公開講演会やワークショップの開催、メールマガジンによる情報発信、人間関係に関する学びの支援を必要とされる様々な領域での受託事業などを通じて、多様なあり方を尊重する、人間性豊かな社会の実現に向けて、日々取り組んでいます。

南山大学人間関係研究センターの生い立ち

南山大学人間関係研究センターの起源は、南山短期大学人間関係研究センターにあります。同センターは、1977年9月以来23年に渡って活発な活動を展開してきました。2000年4月、その母体となる南山短期大学人間関係科が、南山大学文学部教育学科とともに人文学部心理人間学科へと発展したことを機に、南山大学5つめの研究センターとして、新たな活動を開始しました。現在では、人間関係に関する研究の推進と、社会人を対象とした学び場の提供を柱としながら、多様な活動を展開します。

公開講座の開催

当センターが開催する公開講座の位置づけは、下記のようになっています。

【講座の位置づけ】

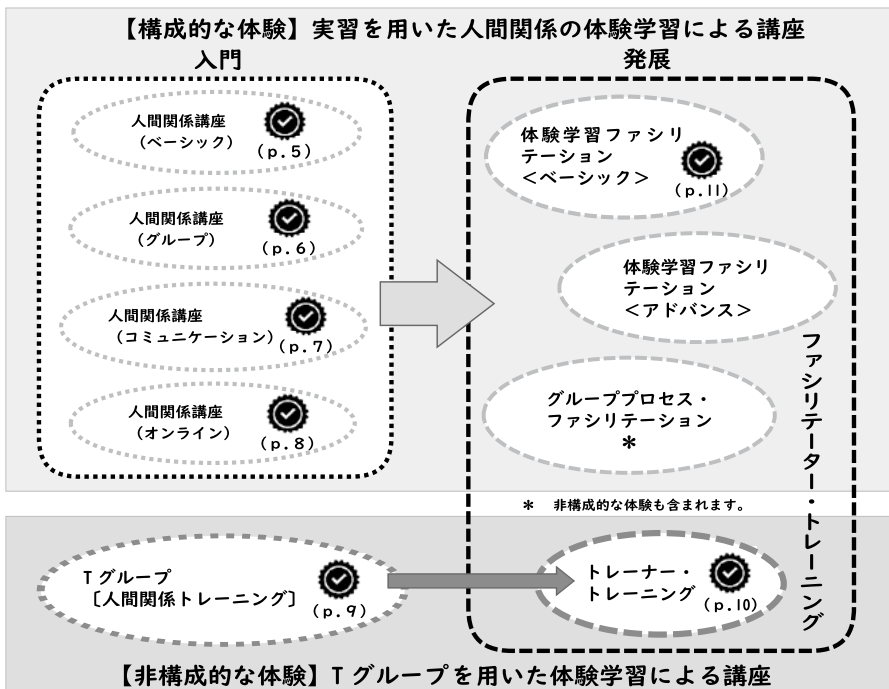
◎のある講座が今年度開講予定の講座です。

各講座の参加資格および詳細は、各講座の案内ページ（P5～17）をご覧ください。

ラボラトリー方式の体験学習の講座

ラボラトリー方式の体験学習の発信と普及のために実施されている講座です。構成的な体験学習と非構成的な体験学習の講座があります。また、初めての方でも安心して受講していただける講座と発展的に学びたいという方に向けての講座があります。

左側の枠：人間関係について体験学習を実際に体験しながら理論の基礎を学びたい方に向けた講座です。
右側の枠：人間関係についての体験学習をさらに発展的に実践してみたい、応用してみたいという方に向けた講座です。



人や人との関わりに関する講座

人間関係や「わたし」に光を当て、体験学習の講座と関連づけたり活かしたりできる内容です。当センター員及び外部講師が担当しますが、年度により担当者や開催講座が変わることがあります。



※開催される公開講座は年度により異なります。

公開講座 カレンダー 2026~2027

人間関係研究センター

2026年4月		5月	6月	7月	8月	9月
1 水	第1次受付期間 (抽選)	1 金	1 月	1 水	1 土) 生徒指導(8/1)	1 火
2 木		2 土	2 火	2 木	2 日) ゲシュタルトAD	2 水
3 金		3 日	3 水	3 金	3 月 (8/1~2)	3 木
4 土		4 月	4 木	4 土	4 火	4 金
5 日		5 火	5 金	5 日 25Tフォロー	5 水	5 土
6 月		6 水	6 土	6 月	6 木	6 日
7 火		7 木	7 日	7 火	7 金	7 月
8 水		8 金	8 月	8 水	8 土	8 火
9 木		9 土	9 火	9 木	9 日	9 水
10 金		10 日	10 水	10 金	10 月	10 木
11 土	11 月	11 木	11 土) アート	11 火	11 金
12 日	12 火	12 金	12 日		12 水	12 土
13 月	13 水	13 土) 講128G	13 月	13 日) 体験BA(後半)
14 火	14 木	14 日		14 火	14 金	
15 水	15 金	15 月	15 水	15 土	15 火	
16 木	16 土	16 火	16 木	16 日	16 水	
17 金	17 日	17 水	17 金	17 月	17 木	
18 土	18 月	18 木	18 土	18 火	18 金	
19 日	19 火	19 金	19 日	19 水	19 土 システム論①	
20 月 第1次申込結果通知期限	20 水	20 土	20 月	20 木	20 日	
21 火 第2次受付開始	21 木	21 日	21 火	21 金	21 月	
22 水	22 金	22 月	22 水	22 土	22 火	
23 木	23 土 講13B	23 火	23 木	23 日	23 水	
24 金	24 日	24 水	24 金	24 月	24 木 講40①	
25 土	25 月	25 木	25 土	25 火	25 金	
26 日	26 火	26 金	26 日	26 水	26 土 講14B/システム論②	
27 月	27 水	27 土) エンパワメント	27 木	27 日	
28 火	28 木	28 日		28 火	28 金	28 月
29 水	29 金	29 月	29 水	29 土) 体験BA(前半)	29 火
30 木	30 土	30 火	30 木	30 日		30 水
	31 日			31 金	31 月	

10月	11月	12月	2027年1月	2月	3月
1 木	1 日 トレーナー・	1 火	1 金	1 月	1 月
2 金	2 月 トレーニング	2 水	2 土	2 火	2 火
3 土	3 火 (10/30~11/3)	3 木	3 日	3 水	3 水
4 日	4 水	4 金	4 月	4 木	4 木
5 月	5 木 講40④	5 土	5 火	5 金	5 金
6 火	6 金	6 日	6 水	6 土) Tグループ
7 水	7 土	7 月	7 木	7 日	
8 木 講40②	8 日	8 火	8 金	8 月	8 月
9 金	9 月	9 水	9 土	9 火	9 火
10 土 システム論③	10 火	10 木	10 日	10 水	10 水
11 日	11 水	11 金	11 月	11 木	11 木
12 月	12 木	12 土	12 火	12 金	12 金
13 火	13 金	13 日	13 水	13 土	13 土
14 水	14 土	14 月	14 木	14 日	14 日
15 木	15 日	15 火	15 金	15 月	15 月
16 金	16 月	16 水	16 土	16 火	16 火
17 土	17 火	17 木 講40⑥	17 日	17 水	17 水
18 日	18 水	18 金	18 月	18 木	18 木
19 月	19 木 講40⑤	19 土	19 火	19 金	19 金
20 火	20 金	20 日	20 水	20 土	20 土
21 水	21 土	21 月	21 木	21 日	21 日
22 木 講40③	22 日	22 火	22 金	22 月	22 月
23 金	23 月	23 水	23 土 ゲシュタルトBA	23 火	23 火
24 土) 講129C	24 火	24 木	24 水	24 水
25 日		25 水	25 金	25 月	25 木
26 月	26 木	26 土	26 火	26 金	26 金
27 火	27 金	27 日	27 水	27 土	27 土
28 水	28 土	28 月	28 木	28 日	28 日
29 木	29 日	29 火	29 金	29 月	29 月
30 金 トレーナー・トレーニング	30 月	30 水	30 土		30 火
31 土 (10/30~11/3)		31 木	31 日		31 水

(注) 各公開講座の略称は下記の通り

- 第13回、14回人間関係講座(ベーシック)→講13B、講14B
- 第128回人間関係講座(グループ)→講128G
- 第129回人間関係講座(コミュニケーション)→講129C
- 第14回人間関係講座(オンライン)→講40 ①~⑥→1回目~6回目
- Tグループ(人間関係トレーニング)→Tグループ
- 2025年度Tグループ フォローアップ日→25Tフォロー

人間関係研究センター事務局休業予定日

- 体験学習ファシリテーション(ベーシック)→体験BA
- システム論で捉える人間関係→システム論 ①~③→1回目~3回目
- ポジティブ生徒指導入門→生徒指導
- ゲシュタルト療法ワークショップ(ベーシック)→ゲシュタルトBA
- ゲシュタルト療法ワークショップ(アドバンス)→ゲシュタルトAD
- アートベースで自己理解を深める：フォーカシング指向のアプローチ→アート
- 自己理解から始めるエンパワメント：共生社会を目指すアプローチ→エンパワメント

対面講座共通 〔感染症予防や 健康管理について〕

対面講座をお申込みいただくにあたり、以下の内容をご確認・ご了承いただきますよう、お願い申し上げます。

□以下の事項に該当する場合は、講座当日の来校をご遠慮ください。

- ・体調がよくない場合（例：発熱、極端な咳、全身倦怠感、咽頭痛などの症状がある場合）
- ・受講者本人が新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症にかかり、発症後5日間を経過していない場合

※新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症が理由で受講をキャンセルされた場合は、診断書の提出を条件に、受講料のご返金について検討させていただきます。該当する場合は、人間関係研究センター事務局（ninkan-c@nanzan-u.ac.jp）へご相談ください。

オンライン講座共通 〔ご確認いただきたい項目 及び注意点〕

オンライン講座はweb会議アプリケーションZoomを使用した参加型学習として実施いたします。内容を円滑に進めるため、お申込みにあたり以下の内容を必ずご確認くださいますようお願い申し上げます。

- ① PCからZoomへの接続が可能であることをご確認ください。
Zoomの機能制限や実習上の画面サイズの都合上、スマートフォンやタブレットからの参加はご遠慮ください。PCにアプリをインストールしたうえでの接続をお願いします。
- ② 原則としてビデオ（カメラ）は常時ONの状態でご参加ください。
他の参加者と関わる実習を行うため、カメラを常時ONにし、常に会話ができる環境でご参加ください。聞くのみの受講はできません。
- ③ 全時間の出席が必要です。原則として、遅刻・早退をしないでください。
体験学習の性質上、他の参加者の方へ影響するため、遅刻や早退が生じる場合はご参加いただけません。全時間に参加できることをご確認のうえ、お申込みください。
- ④ 受講環境を確保してください。
プライバシーへの配慮および講座に集中していただくため、第三者の出入りや会話がない静かな個室等の環境から接続してください。
- ⑤ 講座の様子を事務局が録画します。
接続トラブルのフォロー等の目的で、事務局にて講座全体の録画をさせていただきます。録画はスピーカービューで行い、目的外の使用はいたしません。

以上の内容に同意いただいたうえで、お申込みいただけますと幸いです。

自分の人間関係やコミュニケーションの理解のために

人間関係講座(ベーシック) 第13回(春)/第14回(秋)

この講座では、「体験学習」という方法を用いて、自分の日常の中で起こっていることに目を向けながら、人間関係やコミュニケーションについて学んでいきます。

私たちが日常を過ごす中で、人間関係やコミュニケーションはとても重要な役割を果たしています。しかし、慌ただしい毎日の生活の中では、ゆっくり考えたり、ふりかえったりすることなく、やり過ごしてしまうことも多いのではないのでしょうか。

この講座では、普段自分が当たり前のように体験していることや感じていることに目を向け、そこで起きていることに気づき、言葉にすることを試みていきます。この試みを通して、自分自身や関わりの中で起きていることを改めて丁寧に捉え、人間関係やコミュニケーションのありようを検討していきたいと考えています。

この講座のねらいは、以下の3つの分野です。

- ①自分を知る
- ②「体験から学ぶ」ということを知る
- ③わかちあうことを通して、それぞれの中で起こっていることに気づく

この講座では、ラボラトリー方式の体験学習を用いた実習と、体験学習に関する理論の小講義を通して学んでいきます。自分の人間関係や、自分自身について一度ゆっくりとふりかえってみたいと感じている方にお勧めです。

【プログラムの内容 (予定)】

小講義「体験学習のサイクル」「コンテンツとプロセス」「フィードバックの留意点」など
日常のコミュニケーションや人間関係のふりかえりとわかちあい
グループでの話し合いを通じた自分の価値観の検討

第13回人間関係講座(ベーシック)[春]

担当者 池田 満・森泉 哲
日 程 2026年5月23日(土) 10:00~17:00
会 場 南山大学 D棟

第14回人間関係講座(ベーシック)[秋]

担当者 伊東 留美・中尾 陽子
日 程 2026年9月26日(土) 10:00~17:00
会 場 南山大学 D棟

両講座は同じ内容で実施されます。

定 員 各24名

受講料 各6,600円(税込)

※参考図書『人間関係の学び方：人間性豊かな関係を育む「ラボラトリー方式の体験学習」の理論と実践』（ナカニシヤ出版、定価¥2,750(税込)）

購入は任意です。購入を希望される方は、講座当日、受付にて販売します。

(ご注意) この講座は、ラボラトリー方式の体験学習を初めて受講される方を対象としたプログラムです。人間関係講座(ベーシック、グループ、コミュニケーション)は体験学習を用いた講座です。受講生の方は実際に実習に参加し、グループやペアになり相手と関わります。身体的・精神的な治療のため通院中などの理由でご心配な方は当センターまでご相談ください。

■ 公開講座 2〔対面〕

グループの中での人間関係の理解のために

人間関係講座(グループ) 第128回

この講座では、「体験学習」という方法を用いて、グループの中で起こる様々な事柄を捉える視点を養うことを目指します。

私たちは、会社や組織、家族や仲間関係など、様々なグループに身をおいています。そのなかでは、どのようなことが起こっているのでしょうか。講座では、取り組んでいる事柄(コンテンツ)だけではなく、人と課題の関わりや人と人との関わり(プロセス)について見ていく枠組みをご紹介します。

この講座のねらいは、以下の2つの分野です。

- ①グループの中での人間関係(グループプロセス)に目を向け、グループプロセスに気づく力を養う
- ②グループの中での自分や他者の特徴に気づく力を養う

この講座では、ラボラトリー方式の体験学習を用いた実習と、グループに関する理論の小講義によって学習を進めていきます。実際にグループによる実習に参加し、その過程を丁寧にふりかえり、メンバーとわかちあうことを通して、起こっていることに目を向けていきます。そのなかでは、グループの中での自分や他者の特徴についても理解が深まることが期待されます。グループの人間関係について関心がある方、理解を深めたい方にお勧めです。

【プログラムの内容(予定)】

小講義「グループプロセスとは?」「グループでの意思決定」「リーダーシップ」など
グループでの問題解決実習
グループでのコンセンサス実習
グループでの制作型実習

担当者 伊東 留美・楠本 和彦
日程 2026年6月13日(土) 10:00~18:00
6月14日(日) 9:00~17:00

定員 36名

会場 南山大学 D棟

受講料 15,400円(税込)

※参考図書『人間関係の学び方:人間性豊かな関係を育む「ラボラトリー方式の体験学習」の理論と実践』(ナカニシヤ出版、定価¥2,750(税込))

購入は任意です。購入を希望される方は、初日に受付にて販売します。

(ご注意) 人間関係講座(ベーシック、グループ、コミュニケーション)は体験学習を用いた講座です。受講生の方は実際に実習に参加し、グループやペアになり相手と関わります。身体的・精神的な治療のため通院中などの理由でご心配な方は当センターまでご相談ください。

自己理解と対人コミュニケーション能力アップのために

人間関係講座(コミュニケーション) 第129回

この講座では、「体験学習」という方法を用いて、人間関係における自分自身のあり方とコミュニケーションの傾向に気づき、自己成長に向けた手がかりを掴んでいくことを目指します。

私たちは他者とのコミュニケーションを通して、相手とわかりあえた感じがして嬉しくなる体験や、逆に、どうしてこんな風に受け取られてしまうのだろう？と驚いてしまうような体験をすることがあります。このような時、私たちのコミュニケーションの中では、一体どのようなことが起こっているのでしょうか。

この講座では、コミュニケーションに影響を及ぼす諸要素のうち、特に“自己理解と対人コミュニケーション”に焦点を当てながら、自分を見つめていきます。

この講座のねらいは、以下の2つの分野です。

- ①話したり聴いたりする時のコミュニケーションプロセスや自分の特徴に気づき、その気づきを日常のコミュニケーションに活かす
- ②自分自身の価値観・感情・興味など、自己理解を深める

この講座では、ラボラトリー方式の体験学習を用いた実習と、自己やコミュニケーションに関する理論の小講義を通して学んでいきます。ゆっくりと自分を見つめたり、他者と話し・聴く中で生まれた気づきをわかちあう体験から、自分への理解が深まっていくことが期待されます。自分についてより深く知りたい方、日常や仕事上でのコミュニケーションで相手の話をよりよく聴けるようになりたい方、日々のコミュニケーションで起こっている気がかりなことについて一度考えてみたい方にお勧めです。

【プログラムの内容 (予定)】

小講義「自己概念」「コンテンツとプロセス」

自己理解を深める実習

コミュニケーション実習

担当者 畑山 知子・森泉 哲
日 程 2026年10月24日(土) 10:00~18:00
10月25日(日) 9:00~17:00

定 員 36名
会 場 南山大学 D棟
受 講 料 15,400円(税込)

※参考図書『人間関係の学び方：人間性豊かな関係を育む「ラボラトリー方式の体験学習」の理論と実践』（ナカニシヤ出版、定価¥2,750(税込)）
購入は任意です。購入を希望される方は、初日に受付にて販売します。

(ご注意) 人間関係講座(ベーシック、グループ、コミュニケーション)は体験学習を用いた講座です。受講生の方は実際に実習に参加し、グループやペアになり相手と関わります。身体的・精神的な治療のため通院中などの理由でご心配な方は当センターまでご相談ください。

人間関係講座(オンライン) 第4回

この講座では、「体験学習」という方法を用いて、オンラインで人と人が関わる際に起こること(=プロセス)を捉える視点を養うことを目指します。

リモートワークが増える中で、ミーティングや打ち合わせをオンラインで行う機会が多くなってきています。対面での関わりとオンラインでの関わりは、共通点と相違点、それぞれのメリットとデメリットがあると考えています。オンラインでの関わりは、Zoomなどのツールの使い方という技術的な側面に目が向きがちかもしれません。本講座では、ツールの使い方という技術的なスキルの向上ではなく、オンラインでの人と人が関わる際に起こる人間関係的な側面に焦点を当て、体験から学ぶことに取り組んでいきます。

この講座のねらいは、以下の2つです。

- ① 1対1でやりとりするとき起こること(コミュニケーションプロセス)や、グループの中で起こること(グループプロセス)に気づく力を養う。
- ② 人と関わるときの自分の特徴に気づく

このオンライン講座では、ラボラトリー方式の体験学習を用いた実習と、小講義によって学習を進めていきます。オンライン上で参加者が関わる実習を体験し、その過程をていねいにふりかえり、参加者同士でわかちあうことを通して、お互いの中で起こっていたことに目を向けていきます。オンラインでの関わりや話し合いについて関心がある方、理解を深めたい方にお勧めです。対面で行われる人間関係講座と学び方や講座の内容は共通していますので、南山大学にお越しいただくことが難しいけれど、人間関係講座に参加したいと希望されている遠方の方も是非ご参加ください。

【プログラムの内容(予定)】

グループでの問題解決実習

ペアでのコミュニケーション実習

グループでのコンセンサス実習

小講義「プロセスとは?」「体験学習の学び方」「ジョハリの窓」「フィードバックの留意点」「グループでの意思決定」など

担当者	池田 満
日程	2026年9月24日(木)、10月8日(木)、22日(木)、11月5日(木)、19日(木)、12月17日(木) 全6回 全日程9:30~12:30 ※全日程オンライン(Zoom)で開催します
定員	24名
会場	オンライン(Zoom)開催
受講料	19,800円(税込)
※参考図書『人間関係の学び方:人間性豊かな関係を育む「ラボラトリー方式の体験学習」の理論と実践』(ナカニシヤ出版、定価¥2,750(税込)) 購入は任意です。購入を希望される方は、各自でご注文ください。	

(ご注意) 人間関係講座(オンライン)は体験学習を用いた講座です。受講生の方は実際に実習に参加し、グループやペアになり、他の受講者と関わります。身体的・精神的な治療のため通院中などの理由でご心配な方は当センターまでご相談ください。

深いかかわりから学ぶ

Tグループ〔人間関係トレーニング〕 第36回

日本の各地から集まったさまざまな人々と
八ヶ岳を目の前に仰ぐ清里の豊かな自然は
あなたが、人と人との関わりを探究するのを
豊かにささえてくれるでしょう。



本当の自分自身でいられることの深い充足感
人と人が関わるプロセスの変化に富んだ姿
対話の中で人の心に触れた瞬間の感動
深いところで自己と対面した驚き
ズッシリとした学びの手応え



人間関係の体験学習の中でも、特に密度の濃い体験のできるトレーニングが「Tグループ」とよばれる集中的集団体験です。その中から、深く豊かな気づきや学びが生まれます。

10名程度が1グループになって、自由な雰囲気の中で対話を続けていくと、自己理解や他者理解、受容や共感、傾聴や援助関係、コミュニケーションやグループプロセス、などにかかわる様々な現象が起こります。その時その場に起こっている人間関係や自分や他者のありようについて、気づいたことや感じたことをお互いにフィードバックしあうことによって、生の人間関係から学ぶことが可能になるのです。

Tグループに代表されるラボラトリー方式の体験学習に参加し学ぶことを通して、現代社会の中に信頼の風土や人と人とのつながりを創り出す変革推進者（change agent）として、人々とともに生きられるようになることが期待されています。

気づいたこと・学んだこと・楽しんだこと（参加者アンケートより）

- ・ これからの自分の指針となることば（体験）をたくさんもちかえることができました。もちかえてみます。
- ・ 人は一人では生きられない。ともにあって、それぞれの価値を認め合い信頼しあうことのすばらしさを実感。

担 当 者 楠本 和彦・中村 和彦・中西 美和・土屋 耕治

日 程 2027年3月6日(土)～11日(木) 5泊6日
フォローアップ 2027年7月4日(日)予定
11:00～17:00(南山大学)

定 員 16名

会 場 (財)KEEP協会・清泉寮
〒407-0301 山梨県北杜市高根町清里3545

参 加 費 受講料 88,830円〈税込〉

滞在費 101,200円〈税込〉予定(シングル利用、宿泊・食事含む) ※現地徴収
※宿泊制プログラムのため、上記施設にご宿泊いただきます。また、グループでの体験学習方式で進めるため、全日程にご参加いただく必要があります。

(ご注意) このトレーニングは、治療を目的としておりません。現在、身体的あるいは精神的な治療のための通院やカウンセリングを受けておられる方、あるいはその必要のある方は、担当医師・カウンセラー等の同意を得て、お申込みの際に同意を得たことをご連絡ください。

また、このトレーニングでは、グループでの話し合いの録音やふりかえり用紙を、グループ内での共有の学習の素材とするための同意書の提出が求められます。

※初回者優遇措置講座：2025年度に実施されたTグループを修了された方は、お申込みいただくことができません。ご了承ください。

グループ・ファシリテーターとしての態度と技能を学ぶ トレーナー・トレーニング 第19回

Tグループを経験された方が、非構成のグループにおけるグループ・ファシリテーションを学ぶためのトレーニングです。

学校や企業、看護や介護、ボランティア活動や地域活動など、社会生活は様々な人間関係によって成り立っています。しかし、相互の率直で正直なコミュニケーションの妨げになる懸念や不信頼の存在によって、本来の力を発揮することができないこともしばしば起こっています。これらの不信頼の風土を信頼の風土に変革することができたら、私たちの世界はもっと豊かなものになるでしょう。

このトレーニングでは、グループ内の人間関係に働きかけて、ひとりひとりが尊重され、プロセスから学び、相互の信頼関係を形成していくためのファシリテーションのあり方を学びます。

対人関係やグループプロセスへの働きかけを体験する場としてTグループを想定した状況の中で、参加者が交代でファシリテーター役を務めたり、観察者としてグループプロセスについてフィードバックしたりしながら、ファシリテーターとしての観察と介入のスキルを磨きます。同時に、全体会において、小講義、チェックリスト、ケーススタディ、ディスカッションなどを通して、グループへの働きかけについて学んでいきます。

期待される成果は

- ・組織や学級運営に役立つグループプロセスを観察・診断するスキルを習得できます。
- ・学習者を尊重しながら体験過程を促進する、効果的な言葉かけや働きかけを学ぶことができます。
- ・カウンセリングなどの基本となる「受容」「共感的理解」「自己一致」や「人間尊重の姿勢」などを、グループの中での自分自身の生きた体験を通して点検できます。
- ・自分自身のかかわり方や働きかけの問題点や可能性を探ることができます。

気づいたこと・学んだこと・楽しんだこと (参加者アンケートより)

- ・ラボラトリー方式の体験学習のベースとなるような考え方について、トレーナーとしての関わり方を学べたことは意味がある。
- ・人に真剣に関わること、正直であろうとすること、そのことによってお互いがより理解しあえる。「信頼」というものがとても大切に思えた。など多数のことを学んだ。

担当者	中村 和彦・楠本 和彦・土屋 耕治
日程	2026年10月30日(金)13:00開始～11月3日(火)16:00終了 4泊5日
定員	16名
参加資格	「Tグループ」参加経験のある方
会場	(財)名古屋市民休暇村管理公社・おんたけ休暇村 〒397-0201 長野県木曾郡王滝村3159番地25
参加費	受講料 76,780円〈税込〉 滞在費 36,500円〈税込〉予定(宿泊・食事を含む)※現地徴収

※宿泊制プログラムのため、会場施設にご宿泊いただきます。また、グループでの体験学習方式で進めるため、全日程にご参加いただく必要があります。

(ご注意) このトレーニングは、治療を目的としておりません。現在、身体的あるいは精神的な治療のための通院やカウンセリングを受けておられる方、あるいはその必要のある方は、担当医師・カウンセラー等の同意を得て、お申込みの際に同意を得たことをご連絡ください。

また、このトレーニングでは、グループでの話し合いの録音やふりかえり用紙を、グループ内での共有の学習の素材とするための同意書の提出が求められます。

体験学習のファシリテーションの基礎を学びたい人のために【ファシリテーター・トレーニング】 体験学習ファシリテーション〈ベーシック〉第7回

この講座は、これまで人間関係講座などを通して「ラボラトリー方式の体験学習」を体験された方に、体験学習への理解をより一層深めていただくことを目指しています。

近年、学校教育はもちろんのこと、様々な領域において、学習者参加型や体験学習型の教育が求められています。このような学び方を実践していく際には、学習者との対話や今ここで起きていることへの臨機応変な対応など、マニュアル化できない要素が大切になってきます。この講座では、グループで実際に体験学習プログラムを設計・実施する体験を通して、学習者中心の教育への理解を深めながら、ファシリテーターとしての関わり方やスキル向上に取り組みます。

当センターが開催する類似の講座として「体験学習ファシリテーション〈アドバンス〉(旧「アドバンス体験学習」)」があります。本講座は基礎編、「体験学習ファシリテーション〈アドバンス〉」は応用編とご理解ください。この講座では、既存の実習を用いた学習プログラムの設計・実施を通して、参加者同士学び合っていきます。一方の「体験学習ファシリテーション〈アドバンス〉」では、実習の作成にも取り組むため、ラボラトリー方式の体験学習の実践についてより深く学ぶことができます。「体験学習ファシリテーション〈アドバンス〉」の受講を検討されている方は、その前段階として、ぜひ本講座の受講をご検討ください。

この講座では、以下のような内容を通して学んでいきます。

- ・ラボラトリー方式の体験学習で大切にしていることについて
- ・体験学習のファシリテーションについて
- ・自身の学習体験やファシリテーター体験のふりかえり
- ・ねらいづくりと実習の選択について
- ・体験学習プログラムの設計や進め方の留意点について
- ・ファシリテーター・グループによる体験学習プログラムの検討・準備・実施

体験学習プログラムを実施する際には、他グループのメンバーが学習者として参加し、そこでの気づきをわかちあひながら学んでいきます。この講座自体が、体験を通してお互いに学び合う場となります。ファシリテーターとしてのトレーニングにとどまらず、この場に集うメンバー全員で、お互いの成長を支え合うような時間を過ごしていきましょう。

担当者	中尾 陽子・大塚 弥生
日程	2026年8月29日(土)、8月30日(日)、9月12日(土)、9月13日(日) 土曜日：10：00～18：00 日曜日：9：00～17：00
定員	12名
参加資格	当センターの人間関係講座またはTグループ[人間関係トレーニング]を修了された方、またはそれに準ずる経験をお持ちの方(不明の場合はお問い合わせください)
会場	南山大学 D棟
受講料	41,580円〈税込〉
	※グループでの体験学習方式で進めるため、 <u>全日程にご参加いただく必要があります。</u>
	※参考図書『人間関係の学び方：人間性豊かな関係を育む「ラボラトリー方式の体験学習」の理論と実践』（ナカニシヤ出版、定価¥2,750〈税込〉）
	購入は任意です。購入を希望される方は、初日に受付にて販売します。

(ご注意) 体験学習ファシリテーション〈ベーシック〉は体験学習を用いた講座です。受講生の方は実際に実習に参加し、グループやペアになり相手と関わります。身体的・精神的な治療のため通院中などの理由でご心配な方は当センターまでご相談ください。



■ 公開講座 8 [対面]

自己理解から始めるエンパワメント

共生社会を目指すアプローチ 第1回

この講座では、様々なワークを通して、自らの置かれている状況の中で本来持っている力を再発見し、発揮していくプロセス（=エンパワメント）を学ぶことを目指します。

本講座のテーマである「エンパワメント」とは、日々の役割や周囲の期待に応える中で見過ごされてきた自身の強みや価値観を見つめ直し、主体的な行動を通して、自律性や自分への信頼を育てていくプロセスです。

他者や社会との豊かな関わりのためには、まず自分自身が本来持っている強みを知り、活かす方法を身につけ、主体的に行動を選択できる状態であればなりません。本講座では、まず自分自身との関わりを見つめ直すことから始め、その上で他者との豊かな関わりを築くプロセスに取り組んでいきます。

この講座のねらいは、以下の2つです。

- ①日々の役割の中で見過ごされてきた自身の強みや価値観を捉え直し、自分への信頼（自己効力感）を深める。
- ②自身の力を、他者や社会との関わりの中で発揮するための主体的な行動について学ぶ。

この講座では、個人でのワーク、参加者同士での関わり、小講義によって学習を進めていきます。1日目は「個人の内省」に焦点を当て、2日目は「他者・社会との関わり」へと視点を広げていきます。実習での体験をていねいにふりかえり、参加者同士でわかちあうことを通して、自己理解と他者理解を深めていきます。

【プログラムの内容（予定）】

視点を変えるリフレーミング実習
時間の使い方の再点検
価値観を再発見する実習
自己理解と自己表現
ロールプレイ
小講義「エンパワメントとは」「自己理解と他者理解」など

担当者	池田 満・平田 金重・勝山 こうへい
日程	2026年6月27日(土) 10:00~18:00 6月28日(日) 9:00~17:00
定員	36名
会場	南山大学 D棟
受講料	20,790円〈税込〉

(ご注意) この講座は、治療を目的としておりません。受講生の方は実際に実習に参加し、グループやペアになり相手と関わります。身体的・精神的な治療のため通院中などの理由でご心配な方は当センターまでご相談ください。

望ましい行動に目を向けて、登校力を高める

ポジティブ生徒指導入門 第4回

日本の学校で先生方は、切磋琢磨する学級集団をつくろうと努めてきました。そして、好ましい学級雰囲気は、高い学力にも結びついています。こうした学校の強みの反面、不登校やいじめなどの問題もなかなか解消できません。外国の学校での実践から学ぶことは、ないでしょうか。

米国の学校では、生徒指導の枠組みとして、カウンセリングやTET（教師学）、ゼロトランスなどが用いられてきました。でも、その限界や問題点が指摘される中、最近になってPBISという問題行動の予防を重視した試みが行われています。ポジティブな行動支援、あるいはPBSとも呼ばれます。それは急速に大きな流れを形成し、PBIS実践校は2万校におよんでいます。

PBISにおいては、生徒が取るべき望ましい行動を、3つの段階でポジティブに指導します。実際PBISを導入することで、行動面、学力面ともに、好ましい成果が報告されています。

日本の先生方は非常にお忙しいので、この講座は参加しやすいように半日で設定しました。ポジティブ生徒指導の概略をご紹介し、またPBIS第一段階での取り組みを中心に体験して頂きます。学校の先生方を主な受講者として想定していますが、教育に関心のある方であればどなたでも歓迎いたします。

気づいたこと・学んだこと・楽しんだこと（参加者アンケートより）

- ・ポジティブ生徒指導の基本的な知識が良く理解できました。日本における実践例をもっと知りたいと思いました。
- ・学生にどう伝えようとポジティブになるか考える時間になった。
- ・自分の環境を客観的に見て、考えることができた。
- ・ポジティブな思考、表現を学ぶことができました。
- ・ポジティブ心理学を学んだことがあり、それを授業に取り入れているが、基本的な考え方が分かったことで、さらに理解を深めることができた。

担当者	市川 哲
日 程	2026年8月1日(土) 9:00~12:00
定 員	30名
会 場	南山大学 D棟
受講料	3,800円〈税込〉
※参考文献	ストーモントら『いじめ、学級崩壊を激減させるポジティブ生徒指導(PBS)ガイドブック -期待行動を引き出すユニバーサルな支援』明石書店

人間関係を読み解く視点を増やすために…

システム論で捉える人間関係 第5回

本講座では、人間関係をシステムとして捉える考え方を紹介し、ご自身が関わる人間関係、グループ、組織について読み解く視点を増やす機会となればと考えています。

システム論で人間関係を捉えるとは、人は様々なシステム（要素同士が相互作用し続ける全体）の中において、人の行動や考え方がシステムの関係や状況によって変化すると考えることです。たとえば、ある人が「問題」とされている場合にも、その人自身が「問題」なのではなく、関わるの枠組みや、関係の中で起こってくるコミュニケーションのパターンによって、「問題」と見なされると考えたりします。

講座では、家族療法で用いられるシステムズアプローチの発想のほか、システム論の考え方、3者関係について説明する社会心理学の理論（バランス理論など）を挙げながら、人間関係を捉える枠組みを紹介します。

また、講座の中盤以降は、ご自身が関わりを持つ人間関係（扱いたいものを選択していただきます）について、ふりかえり、対話を通して様々な可能性を探索する機会を持ちます。

人間関係をシステムとして読み解く視点は、様々な領域の対人援助に関わる方々に有効なものだと考えています。

到達目標 ・システム論に基づいて人間関係を捉える視点を得ている。

【プログラムの内容（予定）】

-
- 第1回：人間関係をシステムとして捉える
小グループによるディスカッション
- 第2回：ご自身が関わる人間関係をシステムとして捉える
小グループによるディスカッション
- 第3回：システムへの働きかけを考える
小グループによるディスカッション
-

担当者	土屋 耕治
日程	2026年9月19日(土)、26日(土)、10月10日(土) 3日間 9：30～12：30
定員	18名
会場	オンライン (Zoom) 開催
受講料	11,390円 (税込)
※参考図書	購入は任意ですが、主に次の書籍を参考にしています。 『人間関係の学び方：人間性豊かな関係を育む「ラボラトリー方式の体験学習」の理論と実践』 (ナカニシヤ出版、定価¥2,750(税込)) 『みんなのシステム論：対人援助のためのコラボレーション入門』（日本評論社、定価¥2,420(税込)）

(ご注意) 本講座は、治療を目的としておりません。

気づく、味わう、ととのえる

ゲシュタルト療法ワークショップ〈ベーシック〉 第2回

ゲシュタルト療法は、ユダヤ人の医師パールズ（Perls,F.）により提唱された心理療法です。ゲシュタルトとは、ドイツ語で「かたち」「全体性」という意味です。非分析的であり、人間をありのままに捉えようとするもので、その人を深く全体的に理解しようとするのが特徴です。『今-ここ』での、『気づき』を経て、より『自分らしく生きる』ことを目指します。この講座では、ゲシュタルト療法の考え方をベースにして考案された、エクスペリメントと呼ばれる気づきのワークを通じて、小グループの中でその体験を深めていきます。普段の自分の在り方への気づきを得たい方は、ぜひご参加下さい。ゲシュタルト療法を初めて体験する方にもおすすめします。

担当者	中西 美和・中西 龍一・水野 有希子
日 程	2027年1月23日(土) 10:00~17:00
定 員	30名
参加資格	18才以上の心身ともに健康な方。 このワークショップに関心を持ち、セラピストの提案を受けるか否かなど、ご自身で選択し、自らの経験に責任をおとりにされる方。
会 場	南山大学 D棟
受講料	8,910円〈税込〉
※参考図書	『人間関係の学び方：人間性豊かな関係を育む「ラボラトリー方式の体験学習」の理論と実践』（ナカニシヤ出版、定価¥2,750〈税込〉） 購入は任意です。購入を希望される方は、講座当日、受付にて販売します。

(ご注意) このワークショップは、治療を目的としておりません。現在、身体的あるいは精神的な治療のための通院やカウンセリングを受けておられる方、あるいはその必要のある方は、担当医師・カウンセラー等の同意を得て、お申込みの際に同意を得たことをご連絡ください。



■ 公開講座 12〔対面〕

気づく、つながる、ととのえる

ゲシュタルト療法ワークショップ〈アドバンス〉 第1回

ゲシュタルト療法は、ユダヤ人の医師フリッツ・パールズ (F. Perls) によって提唱された心理療法です。「ゲシュタルト」とはドイツ語で「かたち」「全体性」を意味し、人を部分ではなく“全体として”捉えることを大切にしています。この療法は、分析よりも体験を重視し、その人をありのままに理解しようとするアプローチです。「今・ここ」で起きていることに気づくことで、自分自身とのつながりを深め、より自分らしく生きることを目指します。

ゲシュタルト療法ワークショップ〈ベーシック〉を体験して、さらにゲシュタルト療法の関わりを体験してみたい方はもちろん、普段の自分の在り方への気づきを得たい方、職場や家庭など自分が生きている場での関わりを見つめなおしたい方、聴き方のスキルをアップしたい方にもおすすめします。

講座の各セッションでは少人数のグループで、ゲシュタルト療法を体験していきます。参加者のみなさんの取り組みたいことを中心に行いますが、以下のような内容も予定しています。

- ・ 身体を使った体験学習
- ・ 応答の仕方の体験学習
- ・ エンプティチェアを用いたワーク
- ・ イメージを用いたワーク
- ・ 夢のワーク

担当者	中西 美和・水野 有希子ほか
日程	2026年8月1日(土) 10:00~17:00 8月2日(日) 10:00~17:00
定員	16名
参加資格	ゲシュタルト療法ワークショップ〈ベーシック〉受講済みの方。 18才以上の心身ともに健康な方。 このワークショップに関心を持ち、セラピストの提案を受けるか否かなど、ご自身で選択し、自らの経験に責任をおとりにされる方。
会場	南山大学 D棟
受講料	17,820円〈税込〉
※参考図書『人間関係の学び方：人間性豊かな関係を育む「ラボラトリー方式の体験学習」の理論と実践』（ナカニシヤ出版、定価¥2,750〈税込〉） 購入は任意です。購入を希望される方は、初日に受付にて販売します。	

(ご注意) このワークショップは、治療を目的としておりません。現在、身体的あるいは精神的な治療のための通院やカウンセリングを受けておられる方、あるいはその必要のある方は、担当医師・カウンセラー等の同意を得て、お申込みの際に同意を得たことをご連絡ください。

アートベースで自己理解を深める

フォーカシング指向のアプローチ 第2回

私たちは人と関わる時、何らかのやり取り（コミュニケーション）をしていると言えます。コミュニケーションは言葉だけでなく、態度や顔の表情、ジェスチャーなど様々な身体的活動のような非言語的コミュニケーションも含まれます。その人らしさは、言葉によらずとも、さまざまな形で表現されます。

この講座では、非言語的コミュニケーションでもある芸術活動を用いて相手や自分を知るとはどういうことかを理解する内容です。創造的表現活動（ここでは特に視覚的表現）は、身体的感覚を用いたイメージ表現を可能にしてくれます。その表現は自己の心の扉を開き、自己に対する理解を深める手助けとなることもあります。アートセラピーの重要な役割でもある「自己理解を深めること」に焦点をあて、参加者が実際に創造的表現体験を通してアートの働きを学んでいきます。具体的には、体験的に創造的表現活動を行い、創作過程や作品を通してその体験のあり様をふり返ります。自身の身体に注意を向け、身体で感じられる言葉以前のメッセージをキャッチすることの意義についてはフォーカシングの考えを基に紹介していきます。

この講座は体験学習の学習方法を用いて進められます。具体的には、個人やグループで創造的表現活動を行い、その体験をふり返り、その気づきを個人やグループでわかちあいます。表現の上手い下手での評価はされません。アートは苦手だが試したいという方も歓迎します。

アートによる（art-based）自己探求を一緒に体験してみませんか。

担当者 伊東 留美・小坂 淑子
日程 2026年7月11日(土) 10:00~18:00
 7月12日(日) 9:00~17:00
定員 20名
会場 南山大学 D棟
受講料 17,710円〈税込〉

※参考図書『人間関係の学び方：人間性豊かな関係を育む「ラボラトリー方式の体験学習」の理論と実践』（ナカニシヤ出版、定価¥2,750〈税込〉）

購入は任意です。購入を希望される方は、初日に受付にて販売します。

(ご注意) この講座は、治療を目的としておりません。受講生の方は実際に実習に参加し、グループやペアになり相手と関わります。身体的・精神的な治療のため通院中などの理由でご心配な方は当センターまでご相談ください。

南山大学人間関係研究センターの活動

当センターは、人間及び人間関係の学際的研究や実践を推進することと、その成果を公開していくことを目的としています。特に、人間関係を学ぶための「ラボラトリー方式の体験学習」という教育方法の研究及び開発には、長い取り組みの歴史があり、日本における中心的役割を担ってきました。

当センターの活動内容は以下の通りです。

公開講座の開催

ラボラトリー方式の体験学習を用いた講座や人間関係領域の講座の開催

研究の推進

研究活動の実施 人間関係に関する学際的な研究の実施、定例研究会の開催

研究成果の公表 公開講演会の開催、センター紀要『人間関係研究』の出版

研究資料の収集 人間関係に関する文献の収集

センター員の社会貢献

人間関係に関する研修の講師派遣や企画、組織開発コンサルティングなどの実施

人間関係研究センターのWebサイトで最新情報をご覧ください。公開講座・公開講演会・公開講座カタログなどのお申込みはこちらからご利用ください。

<https://rci.nanzan-u.ac.jp/ninkan/>

☆ 当センターをはじめ、南山大学には14の研究機関があります。
南山大学Webページでは「南山の研究力」についてご紹介しています。

<https://www.nanzan-u.ac.jp/research/>

2026年度公開講演会について

当センターでは、広く一般の皆様へも人間関係に関する情報をお届けするために、毎年公開講演会を開催しています。参加は無料です。お気軽にご参加ください。

2026年度公開講演会につきましては、現在企画中です。詳細が決まりましたら、当センターWebサイトにてお知らせいたします。楽しみにお待ちしております。

公開講演会案内ページ

<https://rci.nanzan-u.ac.jp/ninkan/seminar/index.html>

講演会については、メールマガジン（毎月1回配信）でもご案内いたします。ご希望の方はメールマガジンにご登録ください。

メールマガジン申込ページ

<https://rci.nanzan-u.ac.jp/ninkan/center/newsletter.html>

これまでの公開講演会

下記は過去4年間に当センターで開催された公開講演会です。

実施年度	講師／タイトル（講師の所属は講演会時のものです）
2022年	山浦 一保さん（立命館大学 スポーツ健康科学部 教授） 「組織のダークサイドー それでも人はつながり続ける」〔オンライン開催〕
	高木 佑透さん（映画「僕とオトウト」監督） 「僕とオトウトの「かなしみ」について」〔対面開催〕
2023年	今井 ミカさん（映画「虹色の朝が来るまで」監督） 「映画を通して『知る』多様な世界～ダブルマイノリティとして生きる～」〔対面開催〕
2024年	御代田 太一さん 「「よるべない100人のそばに居る。」：救護施設での出会いと人間関係」〔対面開催〕
2025年	藤野 知明さん（映画「どうすればよかったか？」監督） 「「どうすればよかったか？」を考える：社会は何ができるのか？」〔対面開催〕

*過去の公開講演会の内容は、人間関係研究センター紀要『人間関係研究』に掲載されています。ぜひWebサイトをご覧ください。

刊行物の紹介ページ

<https://rci.nanzan-u.ac.jp/ninkan/publish/>

研究の推進

当センター員がそれぞれの専門性を活かしながら、ラボラトリー方式の体験学習の実践研究を始め、人間関係の諸領域に関する研究を行っています。外部資金による受託研究としては、文部科学省「専門職大学院等教育推進プログラム」GP（2007～2008年度）、文部科学省「大学・大学院における教員養成推進プログラム」GP（2005～2006年度）、国際医療センターの受託研究「人間中心の医療の実現に向けての教育プログラムに関する研究」（2003～2004年度）に取り組んできました。

また、センター紀要『人間関係研究』の刊行、定例研究会の実施、人間関係に関する研究資料の収集などを通じて広く社会へ貢献していくことを目指しています。

研究成果の公表：紀要『人間関係研究』

人間関係に関する研究や教育の成果を広く社会に公表するために、研究紀要『人間関係研究』誌を発行しております。掲載論文は当センターWebサイトでも閲覧可能です。

在庫のある紀要については
送料実費でお分けします。
請求方法はWebサイトを
ご覧いただくか、当センターまで
お問い合わせください。

2015年度（第15号）特集「体験学習」

2016年度（第16号）特集「人間関係再考」

2017年度（第17号）特集「グループによる学び」

2018年度（第18号）特集「人間関係研究センター40年をふりかえる」

2019年度（第19号）特集「NTLと体験学習／組織開発」

2020年度（第20号）特集「パーソンセンタード・アプローチとの出会い」

2021年度（第21号）特集「コロナ時代を生きる」

2022年度（第22号）特集「ICTと人間関係」

2023年度（第23号）特集「多様性」

2024年度（第24号）特集「対話」

2025年度（第25号）特集「人間関係の学び方：その先にあるもの」

*当センターの前身である南山短期大学人間関係研究センターからも、研究紀要『人間関係』（全17巻）が発行されています。

25周年イベントを開催しました

2025年7月5日、「南山大学人間関係研究センター設立25周年＆『人間関係の学び方』出版記念イベント」を開催しました。

前半の座談会「教育の冒険と人間関係の学び方—南山大学人間関係研究センター25年の軌跡とこれから—」では、グラバア俊子先生が日本におけるラボラトリー方式の体験学習の黎明期をご紹介くださいました。

後半には4つのワークショップに分かれて学びを深めました。今回のカタログの表紙絵は、ワークショップ内で創作した作品です。



センター員の社会貢献 (2023~2025年度)

※下記は当センター員が受託した研修・講座・企画の一例です。

研修・講座・企画名等	委託者・主催者
子育て支援グループ	南山大学附属小学校
子どもとかかわる専門職のためのフォーカシング研究会	子どもとかかわる専門職のためのフォーカシング研究会
愛知県看護協会認定看護管理者教育課程 セカンドレベル 組織管理論Ⅱ 組織マネジメントの実際	愛知県看護協会
学級・学年づくりに生かす教育相談講座「人間関係づくりトレーニング」	愛知県総合教育センター
教育相談基礎講座「グループアプローチ演習」	名古屋市教育委員会
パーソンセンタード・アプローチの学びに関する研究会	パーソンセンタード・アプローチの学びに関する研究会
フォーカシング・リスナートレーニング	フォーカシング研究会
現職研修「ハイポイントインタビュー」	六ッ美西部小学校
教師のためのカウンセリング講座「ナラティブアプローチを生かした教育相談」	日本学校教育相談学会愛知支部
学校事務職員研修会	名古屋市教育委員会
認知症介護指導者フォローアップ研修「認知症介護における課題解決の具体的方法*チームマネジメント」	社会福祉法人 仁至会 認知症介護研究・研修大府センター

センター員

- ①現在の所属 ②学歴・学位・資格など
- ③研究分野・現在の関心や取り組んでいること
- ④メッセージ

中尾陽子 NAKAO, Yoko

①南山大学経営学部准教授②名古屋大学大学院人間情報学研究科博士後期課程満期退学、修士(心理学)③ラボラトリー方式の体験学習の実践と研究④18才の時に南山短期大学でラボラトリー方式の体験学習とハンドベルに出会い、この二つがずっと私の軸となりながら、あっという間に30年以上の月日が経ちました。その中で出会った方々との関わりを通して、たくさんの気づきと喜びと学びをいただいています。本当に幸せな人生だなあ…と感じます。講座を通して、みなさまとこの幸せを少しでも共有できるように頑張ります！

市川哲 ICHIKAWA, Satoshi

①南山大学教職センター講師②兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科(博士課程)満期退学、修士(学校教育学)、公認心理師、生徒指導士③学校現場における、児童生徒へのポジティブで予防的な生徒指導方法に関する研究④今年度からセンター員として活動することになりました。今後、ポジティブ生徒指導の講座を担当していきたいと考えています。僥越ながら、皆さんがポジティブについて考えるお手伝いのできたらと思っています。講座で皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。

伊東留美 ITO, Rumi

①南山大学人文学部心理人間学科准教授②Lesley University, Graduate School of Arts and Social Sciences, 博士課程修了, Ph.D.(Expressive Therapies), アメリカ・アートセラピー協会認定アートセラピスト, 臨床心理士, 公認心理師③芸術(視覚的)活動とスピリチュアリティ, 美術教育における変容的学習, アートベース・リサーチ④芸術活動は「気づく・知る」術となることを実践と研究を通して探っています。毎年、本カタログの表紙絵を担当しています。ご意見、感想、連想したことなどよろしければ教えてください。

森泉 哲 MORIIZUMI, Satoshi

①南山大学国際教養学部教授②名古屋大学大学院教育発達科学研究科心理発達科学専攻博士後期課程満期退学、博士(心理学), University of New Mexico, Department of Communication and Journalism 博士課程修了, Ph.D. (Communication)③社会心理学, 対人・異文化コミュニケーション④文化, 関係, コミュニケーションは私たちの日常生活では考えることもない空気のような存在です。それをあえて多様な視点から意識することによって、いろいろな気づきが得られると思います。ただ、あまり考えすぎても...というときは、私は何も考えずジョギングをしてリセットするようにしています。

畑山知子 HATAYAMA, Tomoko

①南山大学体育教育センター准教授②九州大学大学院人間環境学府博士後期課程満期退学、博士(人間環境学)③ヘルスプロモーション, ボディワーク, 対人援助職のためのボディワーク構築の実践研究④ボディワークに出会って、からだは、単に骨や筋肉、臓器等の集合体ではなく、その生きざまをあらわしている！と実感してから、自己の全存在としての「からだ」と出会う旅が始まりました。さまざまなワークを通して、からだと対話し、その叡智にふれる体験を重ねて、いまに至ります。一緒に、からだの探求してみませんか？

池田 満 IKEDA, Mitsuru

①南山大学人文学部心理人間学科准教授②国際基督教大学大学院教育学研究科教育原理専攻心理学専修博士後期課程修了、博士(教育学)、認定心理士、応用心理士、専門社会調査士③心理・社会的問題の解決と予防を目指すプログラムの開発・評価の理論と方法についての実践を通じた研究④対立関係にある国をつなぐ紛争予防教育のプログラム評価に取り組む中で、人と人との関わりが平和構築に貢献することを実感しています。人間関係の学びは、目の前の人との関わりだけでなく、世界の平和につながるものだと信じています。

楠本和彦 KUSUMOTO, Kazuhiko

①南山大学人文学部心理人間学科教授②広島大学教育学部心理学科卒業、大阪教育大学大学院教育学研究科障害児教育専攻修了、佛教大学教育学研究科臨床心理学専攻博士後期課程満期退学、博士(教育学)、臨床心理士、公認心理師③カウンセリング、箱庭療法、グループアプローチ④箱庭療法等のイメージ、Tグループ等のグループアプローチを通して、細やかにていねいに心や人にふれていければと願っています。本センター紀要に関心あるテーマについて論文を書いていますのでご覧ください。

中村和彦 NAKAMURA, Kazuhiko

①南山大学人文学部心理人間学科教授②名古屋大学大学院教育学研究科教育心理学専攻後期博士課程満期退学、修士(教育心理学), 米国NTL Institute 組織開発Certificate Program修了③組織開発, ラボラトリー方式の体験学習, グループ・ダイナミックス, 組織開発実践者養成やコンサルティングなどの実践, アクションリサーチ④グループやファシリテーションの講座を担当しています。人と人との間で起こるプロセスに働きかけるという、正解のない学びを講座の中でともに探究していきましょう。

中西美和 NAKANISHI, Miwa

①南山大学人文学部心理人間学科教授②同志社大学大学院文学研究科心理学専攻博士課程後期課程単位取得満期退学，博士（心理学），臨床心理士，公認心理師，日本ゲシュタルト療法研究所にてDiploma取得③ゲシュタルト療法，ヒューマニスティック・グループ・アプローチ④ゲシュタルト療法やTグループに出会い，私が私になっていく経験をしました。置かれた環境の中で，自分が「いかに在るのか」に気づき，他者と繋がりながら，自分らしい選択をし，納得して生きてゆくための知恵を共に探していきましょう。

土屋耕治 TSUCHIYA, Koji

①南山大学人文学部心理人間学科准教授②名古屋大学大学院教育発達科学研究科博士後期課程満期退学，在学中，メルボルン大学訪問研究員，修士（心理学）③社会心理学，組織開発，体験学習，小集団に関する実験室実験，Tグループ，組織開発の実践④色々と自分でやってみる，ということがどうも自分に通底する志向性ということが分かってきました。たとえば，料理については，体験した味をどう再構成できるのかに注力しています。気負わずに気楽なやりとりも好きなことで，講座はじめ皆さんとお会いできることを楽しみにしています。

※職名は2026年4月1日現在（予定）

2026年度 公開講座担当講師

● 当センター員の他、以下の方々に講師としてお越しいただきます ●

平田金重 HIRATA, Kaneshige

①フリーランス（メンタルコーチ）②京都府職員として2年勤務後，大阪市消防局にて11年勤務。災害・緊急対応の現場に従事。③個人の内省や自己理解を深める心理コーチングの実践，対話を基盤としたワークショップの企画・実施。日常生活や対人関係における心理的気づきと変容を支援する取り組みを行っている。

勝山こうへい KATSUYAMA, Kohei

①フリーランス（LGBTQ+研修・メディア表現監修／防犯・護身術講師）②山梨学院大学法学部行政学専攻卒業。元警察官（京都府警察16年勤務）。柔道五段。交番勤務・機動隊勤務を経て，犯罪被害者支援，防犯・護身術指導，危機場面における対人支援に従事。③LGBTQ+をはじめとするマイノリティの安全と尊厳を支える実践，防犯・護身術における心理的・身体的自己調整，対人支援の実践と研修

小坂淑子 KOSAKA, Yoshiko

①北海道大学学生相談総合センター学生相談室講師②大正大学大学院人間学研究科福祉・臨床心理学専攻博士後期課程修了，博士（人間学），臨床心理士，公認心理師，The International Focusing Institute認定 Focusing Trainer/Focusing-Oriented Therapist (specialized in FOAT®)③フォーカシング指向表現アーツセラピーの実践・研究，日常生活における創造性

水野有希子 MIZUNO, Yukiko

①大阪女学院大学・大阪女学院短期大学学生相談室カウンセラー②学士（農学），学士（教養），学士（福祉経営学），公認心理師，精神保健福祉士，日本ゲシュタルト療法研究所にてDiploma取得③ゲシュタルト療法，ヒューマニスティック・グループ・アプローチ，教育・福祉・医療領域における心理臨床

中西龍一 NAKANISHI, Ryuichi

①元京都橋大学教授②同志社大学大学院文学研究科心理学専攻博士課程前期課程修了，Central Washington University Majored in Individualized Study 修了，臨床心理士，日本ゲシュタルト療法研究所にてDiploma取得③精神科クリニックやワークショップにて，ゲシュタルト療法を実践

大塚弥生 OTSUKA, Yayoi

①元南山大学教職センター准教授②奈良教育大学大学院教育研究科学校教育専攻教育心理学専攻修士課程修了，修士（教育学），臨床心理士③対人関係やコミュニケーション，グループや個人の成長，対人援助に係る研修。特に，ナラティブ・セラピー（プラクティス）をベースにした対人関係の構築や対人援助に関心を持っています。

※職名は2026年4月1日現在（予定）

受講申込手順

1

受講申込

1 受講申込

①申込・受付について

	期 間	申 込	受 付	結果通知
第1次 受付 期間	4/1(水) 正午 ～ 4/15(水) 正午	Webページ・ ファクス	抽選にて受講者・ 「キャンセル待ち」 順位を決定	4/20(月) まで
第2次 受付 期間	4/21(火) 正午以降	Webページ・ ファクス	先着順	申込日より 1週間以内

第1次受付期間： 2026年4月1日(水)正午～4月15日(水)正午

- ・この期間内に、Webページ又は、ファクスにて申込を受け付けます。
- ・受講申込を集計し、定員を超えた講座については、抽選にて受講者を選び、キャンセル待ちの順位を決定いたします。
- ・抽選の結果は講座ごとに原則e-mailにて4月20日(月)までに通知いたします。
- ・受付期間外の申込は、受け付けることができませんので、ご了承ください。

第2次受付期間： 2026年4月21日(火)正午以降随時

- ・これ以降は、Webページ、ファクスにて申込を先着順にて受け付けます。
- ・受講可否等のご連絡は、原則e-mailにて申込日より1週間以内に通知いたします。

[申込方法]

- ・Webページ⇒ 申込専用フォームをご利用ください。
<http://rci.nanzan-u.ac.jp/ninkan/training/courses.html>
4月1日(水)正午、4月21日(火)正午に申込用Webページを更新します。申込前に画面更新を行ってください。
- ・ファクス⇒ ファクスでお申込み希望の旨、まずはお電話ください。

②講座申込時のご注意

- ・参加資格が必要となる講座や、初回申込者を優先受付する講座があります。詳細は、p.5～17の各講座案内ページをご確認ください。
- ・都合により担当講師が変更になる場合があります。
- ・個人名での申込のみとさせていただきます。

③受講料割引制度について

対象者：大学生、大学院生、大学の研修生や通信正科生、
南山学園職員

不 可：科目等履修生、専門学校生

申込時の申請に限りますので、割引の希望を事前にご連絡下さい。
詳細は、お問い合わせください。

[お問い合わせ]

人間関係研究センター

e-mail：ninkan-c@nanzan-u.ac.jp 電話：052-832-5002

※事務受付時間 10：00～17：00（土日祝日休み）



2 受講料の振込

- ①原則e-mailにて振込依頼を送付いたします。受講料振込依頼案内に記載されている指定の銀行口座へお振込みください。
- ②受講料の入金確認後、原則e-mailにて入金確認完了のお知らせをお送りします。振込後、1週間以内に届かない場合はご連絡ください。
- ③期日にご入金が確認できなかった場合は、キャンセルされたものとみなしますので、ご注意ください。

3 受講案内

開講日が近づきましたら、原則e-mailにて受講案内等をお送りします。

4 開講日

- ・対面開催の講座につきましては、各講座の日程に合わせて、指定の会場までお越しください。講座ごとに、開講日、時間、会場が異なります。お間違いのないよう十分ご確認ください。
- ・オンライン開催の講座につきましては、各講座の日程に合わせて、ZoomのURL、ID、パスワードをお送りいたします。

〈受講キャンセルについて〉

①受講キャンセル料

キャンセル連絡 (当センター受付日)	キャンセル料
講座開始45日前～14日前	受講料の10% ※
講座開始13日前～3日前	受講料の50% ※
講座開始2日前～当日	受講料の全額 (返金不可)

※返金時の振込手数料
はご負担ください

- ②受講をキャンセルされる場合は、早急にご連絡ください。当センター事務受付時間外にe-mail、またはファクスにてキャンセル連絡をいただいた場合は、翌事務受付日扱いでキャンセル処理をいたします。あらかじめご了承ください。土日祝日・夏期・冬期休業期間等は事務受付いたしませんのでご注意ください。
- ③宿泊講座の滞在費については、各宿泊施設のキャンセルポリシーに基づきご返金対応いたします。
- ④入金後の講座変更については、同年度内の講座に限り、1件につき1回可能です (定員に空きがある場合のみ)。差額は追加振込もしくはご返金にて対応いたします (振込手数料はご負担ください)。講座開始14日前までにお申し出ください。
- ⑤新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症が理由で受講をキャンセルされた場合は、診断書の提出を条件に、受講料のご返金について検討させていただきます (オンライン講座は除く)。該当する場合は、人間関係研究センター事務局へご相談ください。

〈講座の中止について〉

申込者が既定の人数に満たない場合や、担当講師の緊急の都合により、開講を中止することがあります。当センターの理由により講座を中止する場合は、入金された受講料を全額ご返金いたします。

〈公共交通機関ご利用のお願い〉

本校に駐車スペースはありません。公共交通機関をご利用ください。ただし、身体・健康上の理由等やむを得ない事情により、自動車での来校を必要とする場合は、申請により学内の駐車を許可する場合があります。申込の際にご相談ください。

緊急時（悪天候など）における講座の取り扱いについて

南山大学で開催される場合、緊急時における講座（オンライン講座も含む）の取り扱いについては下記のとおりです。

各自で気象情報等を収集した上でご判断いただきますようお願いいたします。

なお、判断が難しい場合などは、当センターWebサイトまたはお電話でご確認ください。
(電話：052-832-5002)

1. 暴風警報発表時の講座措置について

愛知県尾張東部に「暴風警報」が発表された場合、講座の措置については次の通りとします。

※警報発表区分については、気象庁Webページにてご確認ください。

<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/saibun/aichi.pdf>

- ①午前6時より前に解除の場合→平常通りの講座
- ②午前6時以降に解除の場合→講座は中止
- ③講座開始以降に発表された場合→大学の指示による

注)「尾張東部に発表」とは、愛知県における警報発表区分の①尾張東部②愛知県西部全域③愛知県全域、のいずれかに警報が発表された場合が該当します。

2. 交通機関ストライキ時の講座措置について

- ①名古屋市営交通機関のストライキの場合→「1. 暴風警報発表時の講座措置について」の措置に準じる
- ②JRおよび私鉄のストライキの場合→平常通りの講座

3. 「南海トラフ地震臨時情報」*が発表された場合の講座措置について

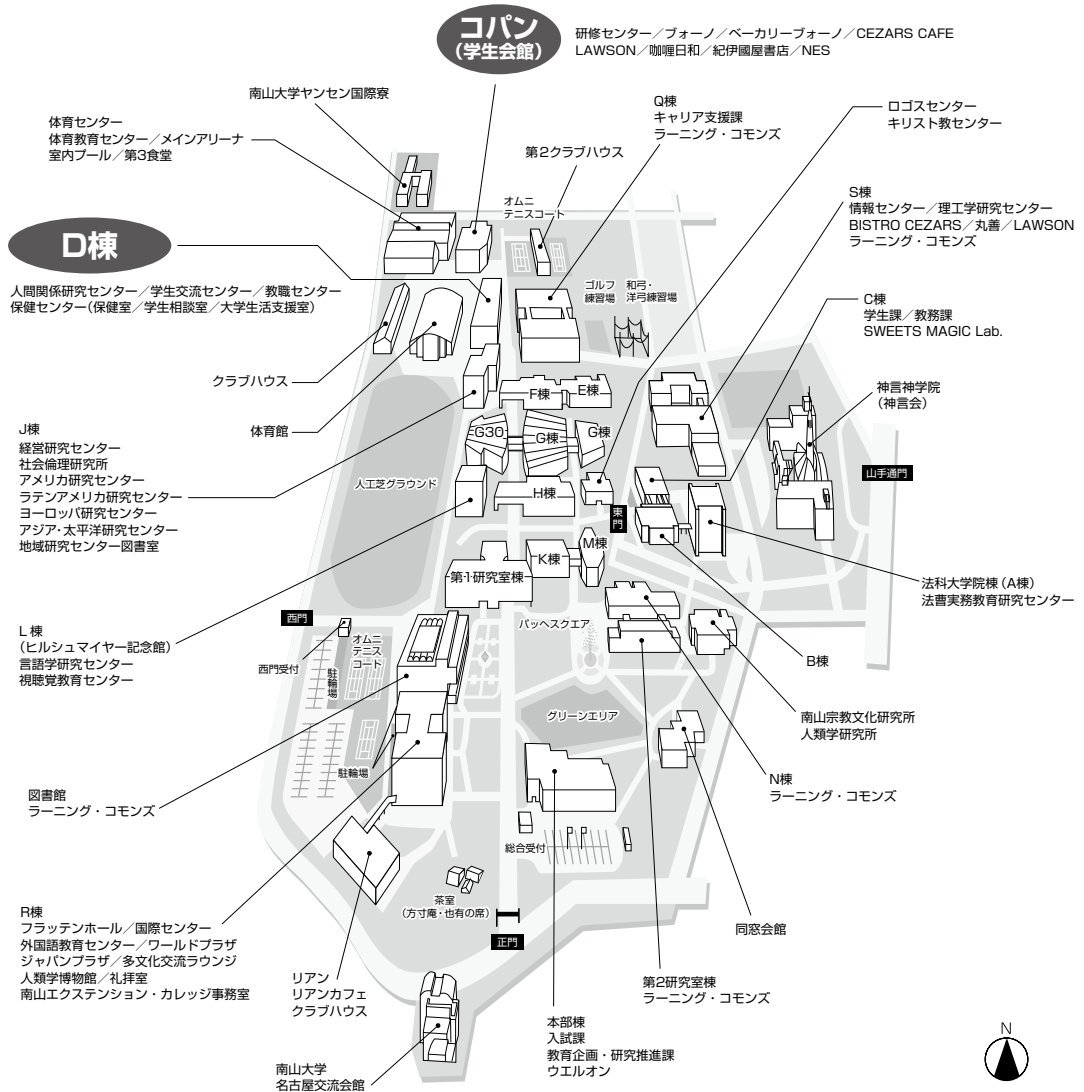
情報名の後にキーワードを付記して「南海トラフ地震臨時情報（調査中）」等の形で情報が発表されます。

「南海トラフ地震臨時情報」に付記されるキーワード	発表に伴う講座等の措置	発表解除に伴う講座等の措置
調査中 「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」が開催された場合に発表される。	①発表があった場合でも、平常通り実施。	
巨大地震警戒 想定震源域内のプレート境界において、モーメントマグニチュード8.0以上の地震が発生したと評価された場合に発表される。 巨大地震注意 ・監視領域内において、モーメントマグニチュード7.0以上の地震が発生したと評価された場合（巨大地震警戒に該当する場合は除く）に発表される。 ・想定震源域内のプレート境界面において、通常と異なるゆっくりすべりが発生したと評価された場合に発表される。	①講座開始前に発表があった場合は、来学せずに自宅待機。来学途中であれば速やかに帰宅。 ②講座開始後に発表があった場合は、講座を中止し、速やかに帰宅。	解除後、開催日時を改めて検討。

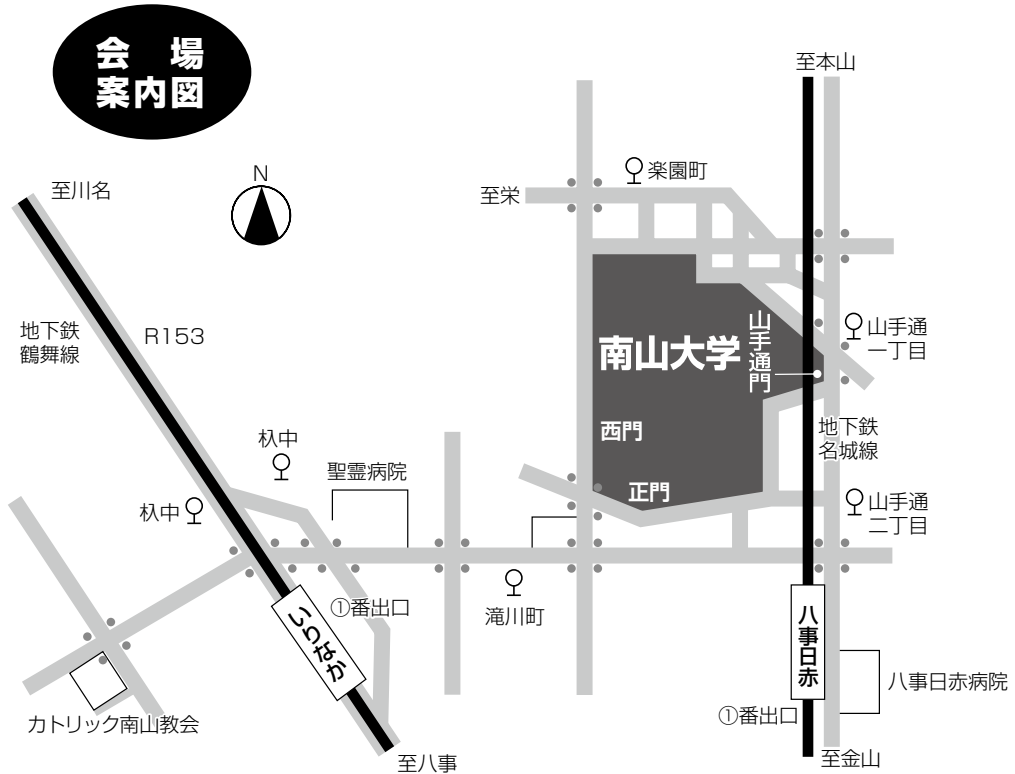
※「南海トラフ地震臨時情報」発表条件（気象庁Webページより）

- ・南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合
- ・観測された異常な現象の調査結果を発表する場合

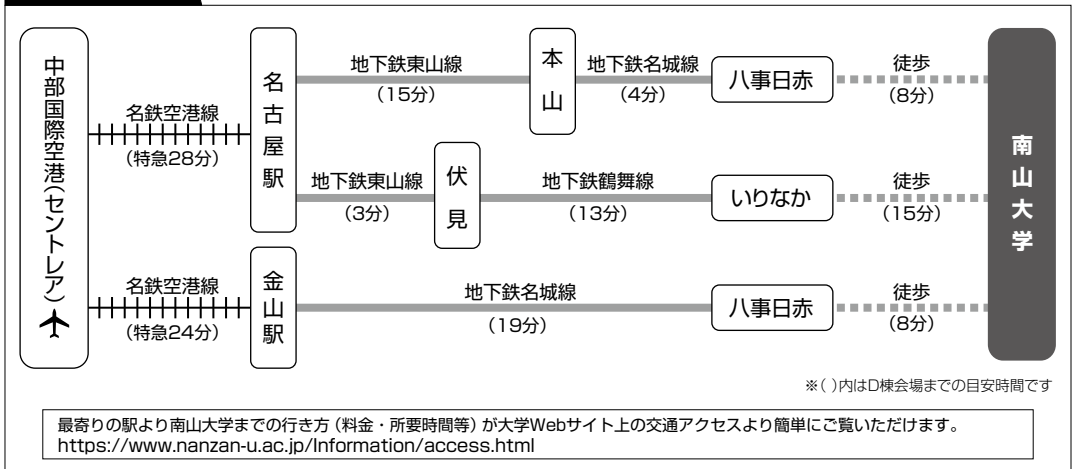
構内案内図



アクセス



交通案内



人間関係の作り方をどう学べばよいか

人間関係の学び方

人間性豊かな関係を育む
「ラボラトリー方式の体験学習」の理論と実践

土屋 耕治・楠本 和彦・中村 和彦 編著



人と関わる体験の場を設定し、その過程を ふりかえりながら、人間関係について学ぶ

人との関わり、すなわち人間関係をどのように形作るかは、多くの人にとって身近で重要ですが、一人で学びを深めていくのは容易ではありません。

本書は、関わりの体験をもとに、その過程をともにふりかえりながら、人間関係を学んでいく「ラボラトリー方式の体験学習」の理論と実践について書かれています。この学び方には、人と人が互いを理解し、高め合うための実践の智が凝縮されています。本書に触れることで、ご自身や周りの人々の今を見つめなおし、人間性豊かな関係と社会が育まれていく一助となることを願っています。

B5判・192ページ 定価 2,750円(税込)
2024年11月刊行 ISBN 978-4-7795-1826-3

主要目次

■第I部 ラボラトリー方式の体験学習のキーコンセプト

- 1章 学び方としてのラボラトリー方式の体験学習プロセスから、ともに学ぶ
 - 2章 ラボラトリー方式の体験学習の基盤となる理念と構造
 - 3章 内省的で協働的な探究
 - 4章 フィードバックと自己成長
- #### ■第II部 プロセスをとらえるための多様なレンズ
- 5章 システムのさまざまなレベル
 - 6章 個人内プロセス
 - 7章 対人プロセス
 - 8章 グループプロセス

- 9章 非構成グループにおけるプロセス
- #### ■第III部 ラボラトリー方式の体験学習に活かす カウンセリングの観点 人間性心理学的アプローチから
- 10章 ラボラトリー方式の体験学習におけるカウンセリングの位置づけや影響
 - 11章 心理的成長とそれを促す態度・関わり
 - 12章 傾聴 (アクティブリスニング)
 - 13章 自己概念と経験・自己理解
 - 14章 フォーカシング
 - 15章 ゲシュタルト療法
- #### ■第IV部 ラボラトリー方式の体験学習に活かす カウンセリングの観点 心理臨床の知見から
- 16章 待つ、沈黙
 - 17章 語ること 言語化・象徴化について

- 18章 洞察、気づき
 - 19章 無意識、イメージ
- #### ■第V部 グループプロセスに働きかけるファシリテーション
- 20章 ファシリテーションとは?
 - 21章 プロセスに働きかける
 - 22章 グループの話し合いのファシリテーション
 - 23章 長期的なグループの発達・成長をめざして
- #### ■第VI部 ラボラトリー方式の体験学習の設計と実践
- 24章 体験学習プログラム設計の6段階
 - 25章 設計する
 - 26章 実施する
 - 27章 体験学習プログラムをふりかえる(評価する)
 - 28章 体験学習プログラムのバリエーション

執筆者

青木 剛 龍谷大学 心理学部 准教授
池田 満 南山大学 人文学部心理人間学科 准教授
伊東 留美 南山大学 人文学部心理人間学科 准教授
宇田 光 南山大学 名誉教授
大塚 弥生 元 南山大学 教職センター 准教授
楠本 和彦 南山大学 人文学部心理人間学科 教授
坂中 正義 元 南山大学 人文学部心理人間学科 教授

土屋 耕治 南山大学 人文学部心理人間学科 准教授
中尾 陽子 南山大学 経営学部経営学科 准教授
中西 美和 南山大学 人文学部心理人間学科 教授
中村 和彦 南山大学 人文学部心理人間学科 教授
畑山 知子 南山大学 体育教育センター 准教授
森泉 哲 南山大学 国際教養学部国際教養学科 教授

全国の書店・ネット書店でお買い求めいただけます



←書籍ウェブサイト
はこちら



← Amazon での
ご購入はこちら

◆店頭がない場合は、最寄りの書店でご注文いただけます。
◆公費でのご購入、教科書採用見本については、以下までお問い合わせください。

ナカニシヤ出版
www.nakanishiya.co.jp

TEL 075-723-0111 FAX 075-723-0095 (営業部)
〒606-8161 京都市左京区一乗寺木ノ本町 15





多様なあり方を尊重する、
人間性豊かな社会を
創り出すために



南山大学 人間関係研究センター
〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18
電話：052-832-5002 ファクス：052-832-3202
事務受付時間：10:00～17:00（土日祝日休み）
e-mail: ninkan-c@nanzan-u.ac.jp
<https://rci.nanzan-u.ac.jp/ninkan/>